



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)7月25日号 No.1667

目次

■ 2015年1～6月のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2015年8月号のご紹介	6
■ モスクワほっとニュース	7
第31回JAL杯ソフトボール大会開催！ / 7	
■ エトセラ	8
「ICCEES幕張世界大会」のご案内(リマインド) / 8	
■ トピックス	9
新潟～極東航路発足へ向け日中で合併会社 / 9	
ロシア・クリミア担当省廃止 / 9	

2015年1～6月のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より2015年1～6月のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介する。なお、本速報作成時に公開されていなかった情報があるため、一部データは2015年1～5月のものとなっている点にご注意いただきたい。

2015年1～6月の主要経済指標は農業(前年同期比2.9%増)を除き、すべて低下した。とくにGDP(2015年1～5月の数値、3.2%減)、鉱工業生産(2.7%減)、商品小売販売高(8.0%減)は以前より低迷・停滞が続いていた分野であったが、後退局面に入った。また、固定資本投資(5.4%減)、実質可処分所得(3.1%減)は前年より低下基調にあったが、さらにその傾向が強まった。

鉱工業生産の分野別の推移をみると、鉱業、電力などの生産と供給は前年と同水準にあるものの、製造業は前年同期比で4.5%減少した。製造業の内訳をみると、輸送機器(16.7%減)と機械・設備(14.6%減)を筆頭に大半の部門において生産の減少が見られたが、食品(2.0%増)や化学工業(5.9%増)では生産が増加した。製品別の動向をみると、食肉(13.2%増)、プラスチック(10.8%増)、自動車用タイヤ(10.6%増)の生産が大きく伸びた一方、乗用車(24.4%)をはじめとする各輸送機器、機械・設備を中心に多くの製品の生産が減少した。